

Toolbox Talk-flange final machining

ツールボックストーク-フランジ仕上げ加工

ガスケットとフランジを確実に嵌合させるために、フランジ面には粗さが必要です。この粗さによって、ガスケットと相手フランジが確実にマッチングさせ、シール性を向上させます。フランジ面の仕上げタイプは4つあります。

1. 標準的セレーション (125 U"-500 UTM)
2. スパイラルセレーション (125 U"-250 UTM)
3. 同心セレーション (125 U"-250 U")
4. スムーズ (125 U"-250 U")

メーカーで正常にフランジ面が仕上げ加工された状態で出荷されますが、受け取り時にフランジの抜き取り検査をしておくといでしょう。また、フランジを交換した後に、フランジ面の形状が正しくない懸念もあります。フランジ面比較ツール(下記参照)は、再加工後に正しい粗さのプロファイルが存在することを確認するのに役立ちます。

Incorrect Roughness Profile Examples After Flange Refacing

フランジの仕上げ加工の不適合事例

